

悔い改めること

マタイ四・一二―一七

今日のマタイ福音書によれば、主イエスが伝道を始められた最初の言葉は

「悔い改めよ。天の国は近づいた」(一七節)

ちなみに、より以前に書かれたマルコ福音書は少し書き方が違う。「…神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じよ」(一・一四)。順序の違いだけですが、色合いはだいぶ異なります。マルコは、神の国が近づいたと理由を先に述べた上で、だから悔い改めなさい、福音を信じなさいと諭す。一方、マタイはいきなり「悔い改めよ」、有無を言わずぬ命令から入ってくる。マルコの書き方に物足りなさを感じたのかもしれませんが、理由よりも、まず悔い改めること。そこからすべてが始まるのだ、と。

ここで「悔い改める」という翻訳に注意。日本語では、悪いことをして反省します、もうしませんというのが悔い改める。しかし、聖書の原語はそうではなく、「全く新しい方向へと向きなおる」こと、生き方の大転換、です。

今ちょうど一月ですね。聖書の「悔い改める」は日本のお正月のようなものかもしれません。英語で新年を *Happy New Year* と挨拶しますが、私たちは、明けましておめでとう！ 古い年が過ぎ新しい年が明けた清々しい気持ちが表示されていますね。この感覚が「悔い改める」。いままでの、自分にばかりこだわった内向きの歩みではなく、両手を大きく広げ胸をはって、神さまに向かって歩み始めていいんだ！ それが「悔い改める」という生き方。

悔い改めて歩み出すと、ほら見てごらん、もうすでに天の国はあなたたちのところに訪れていますよ、とイエスは言っているのです。